

第76号 国民健康保険

反対討論

平成30年度から県と市町村の共同事業となったこの制度は、他の公的医療保険制度に比べて保険料の負担が高くなっています。国は保険料水準の統一を県に求めています。他の自治体に比べて高い白岡の保険料を繰入金の導入などにより引き下げるべきです。

賛成討論

当該保険税は、他組合等と比べ高額であるなど、改善が求められます。人間ドックの受診率4.2%(平成25年度)に対し、6.6%(元年度)と着実に向上するなど努力の跡が窺えます。市民の健康維持のため、適正な予算執行が認められ、賛成するものです。

第77号 後期高齢者医療

反対討論

これは高齢者の医療費削減を目的に作られ、75歳以上の方々を別建ての保険に加入させる制度です。保険料を滞納し、悪質とみなされれば保険証を取り上げられ、受診の際に医療費全額を支払わなければならない、医療に差別を持ち込むこの制度は廃止すべきです。

賛成討論

歳入につきましては、口座振替の促進や電話催告など、保険料の徴収努力がなされ、歳出につきましては、広域連合へ適正に納付されています。団塊の世代が後期高齢者になる4年目を目前に控え、適正な執行がなされていたものと認められます。

第78号 介護保険

反対討論

高齢者への介護サービスを一体的、効率的に提供し、社会全体で支える制度として出発しました。しかし、高い保険料と利用料を負担できず、制度があっても利用できない方々があり、最近は利用料の3割負担も導入され益々利用しづらい制度になっていて問題です。

賛成討論

この制度は、平成12年度に発足しました。本決算では、歳入は前年度と同じ程度の収納率が確保されていて、法定負担分も適正に財源が確保されています。歳出では、地域支援事業や包括的支援事業に積極的に取り組んでいて、適正な執行と認め本案に賛成します。

第79号 農業集落排水

**問** 使用料の徴収率が低くなっているのはなぜか。

**答** 平成30年度と比較し、元年度の滞納繰越分の人数は減っているが、破産手続きを行っている法人が含まれている等により徴収率は低くなっている。

**問** 建物・物件調査等委託料とあるが、継続して実施するものか。

**答** 最適化整備構想の策定の費用で、元年度で完成している。そのため、継続して実施するものではない。

第80号 公共下水道

反対討論

市街化区域内の住環境整備、河川の浄化を目的に進められ、元年度は第3中継ポンプ場の改築も行いました。しかし、利用する市民に受益者負担金を課したり、都市計画税の賦課などの二重負担は問題で、受益者の負担金の減免についての公平性に疑問もあり反対します。